

2020年1月22日

各 位

三井住友トラスト・ホールディングス株式会社

**第5回サステナブルファイナンス大賞(一般社団法人環境金融研究機構)**  
**優秀賞を受賞**

当社の子会社である三井住友信託銀行株式会社が、本日別添のプレスリリースを公表致しましたのでお知らせ致します。

以上

2020年1月22日

各 位

三井住友信託銀行株式会社

**第5回サステナブルファイナンス大賞(一般社団法人環境金融研究機構)  
優秀賞を受賞**

三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:橋本 勝、以下「当社」)は、一般社団法人環境金融研究機構(RIEF)<sup>(※1)</sup>が実施する第5回サステナブルファイナンス大賞において、優秀賞を受賞しましたのでお知らせします。

サステナブルファイナンス大賞は、一般社団法人環境金融研究機構(RIEF)が、日本のグリーン&サステナブルファイナンスの分野で目覚ましい活動を展開した金融機関、企業等を表彰するもので、今回で5回目となります。当社自身4度目の受賞となりますが、今回は、世界初の国連環境計画金融イニシアティブ(UNEP FI)<sup>(※2)</sup>のポジティブ・インパクト金融原則<sup>(※3)</sup>に基づく融資契約(ポジティブ・インパクト・ファイナンス)が評価され、優秀賞を受賞しました。

ポジティブ・インパクト・ファイナンスは、企業活動が環境・社会・経済に及ぼすインパクト(ポジティブな影響とネガティブな影響)を包括的に分析・評価し、当該活動の継続的な支援を目的とした融資を実行するもので、企業によるSDGs達成への貢献度合いを評価指標として活用して開示することが最大の特徴です。

当社では、ポジティブ・インパクト・ファイナンスにより、SDGsの目標達成に資するお客さまの事業活動を支援するとともに、お客さまの中長期的な企業価値向上に貢献することを引き続き目指してまいります。



(※1)一般社団法人環境金融研究機構(RIEF)

環境金融研究機構は、環境と金融を融合させた環境金融の考え方の普及・啓発・発展・展開を目指す非営利団体です。2015年にスタートしたサステナブルファイナンス大賞は今回で5回目を迎えます。

(※2)国連環境計画金融イニシアティブ(UNEP FI)

国連環境計画(UNEP)は、1972年に「人間環境宣言」及び「環境国際行動計画」の実行機関として設立された国連の補助機関です。UNEP FIは、UNEPと200以上の世界の金融機関による広範で緊密なパートナーシップであり、1992年の設立以来、金融機関、政策・

規制当局と協調し、経済的発展とESG(環境・社会・企業統治)への配慮を統合した金融システムへの転換を進めています。

(※3) ポジティブ・インパクト金融原則

UNEP FI が2017年1月に策定した、SDGs(持続可能な開発目標)の達成に向けた金融の枠組です。企業がSDGsの達成への貢献をKPIで開示し、銀行はそのプラスの影響を評価して資金提供を行うことにより、資金提供先企業によるプラスの影響の増大、マイナスの影響の低減の努力を導くものです。融資を実行する銀行は、責任ある金融機関として、指標をモニタリングすることによって、インパクトが継続していることを確認します。

以上